

未来の自分を見据えて！ 令和元年度インターンシップ

皆さん、こんにちは！藤原曹長です。例年2月は除雪に明け暮れる日々ですが、今年の新発田市内は積雪がほぼなく、立掛けられたままの除雪道具は活躍できずに少し寂しそうな様子です。

（個人的には、朝晩の除雪から解放され、（`∨`）ですが…）

さて、今回は2月19日（水）に行った「令和元年度インターンシップ」を紹介します。



【業務体験に奮闘する隊員】

「インターンシップ」とは、若年定年（50代）退職予定隊員に対して、再就職先選択の職域拡大やミスマッチによる早期離職防止を図ることを目的とし、昨年度から各地方協力本部計画で実施しているものです。また、受け入れ企業様に対して、退職自衛官雇用の有用性周知を目的としている事業でもあります。

今回のインターンシップにご協力いただいた企業は、物流事業・食品事業を持つ「シュタープ株式会社」様（新潟市北区）です。

HVK
HAMAYOTEIグループ

Come out of one's shell
シュタープ

安心・安全・おいしい食卓へ笑顔の新鮮パートナー

【カラヤぶり】



社名の「シュタープ」は「スタッフ」を意味するドイツ語に由来しているとのこと。「スタッフ」には「人材」の他「杖」との意味もあり、どちらも「ともに支える」もので、優れた人材の集合体として、取引先様の事業や皆様の快適な暮らしを支え、社会に貢献することをモットーとしているそうです。



【会社の概要説明等を受ける隊員】

方面管内各地方協力本部が計画・調整した様々な業種・職域の中から「運輸業」「卸販売業」に興味を持つ4名（相馬原・高田・新発田各駐屯地所属）の隊員が参加しました。

参加隊員は、小式沢社長、近藤品質保証室長から会社の主要事業や、社員の恒常的勤務一日の流れを説明していただきました。

その後、一昨年に新発田駐屯地での勤務を最後に定年退官され、シュタープ（株）様に就職された福島清行さんから、再就職に向けての心構えや準備事項等を体験談を踏まえて「何を再就職に求めるか」についてのお話をいただきました。



「お客様のニーズに併せて」と「安全・確実な配送」ができるように細心の注意を払っています！

続いて、業務体験です！隊員たちは「商品」を運んだコンテナを出荷元へカート毎に仕分けし、大型トラックへと積み込む準備業務を体験させていただきました。



参加隊員たちは「仕事を行う」ということだけではなく、お客様に対し「どんな小さな要望であっても、精一杯にお応えする」「運ぶのではなく、安心と満足を届ける」を意識し、信頼していただけるサービスを提供することの重要性を改めて実感した様子でした。

シュタープ株式会社の皆様、ご協力ありがとうございました。

参加した隊員は「未来の自分」をイメージし、再就職に向けた準備を行う良い契機となった様子です。

新発田援護室では、県内企業様の協力を得て、今後もこのような教育や研修を計画し、退職予定自衛官が安心して勤務・訓練に集中できるように支援していきます。：新発田援護室一同